

日常をより豊かに演出するコーヒー&紅茶の通販サイト

「EXCEBLISS」オープン!

グループ内のノウハウを活用しインターネット通販の新展開

「安心堂」で培ったインターネット通販のノウハウ、長年の実績に裏打ちされたコーヒー&紅茶の確かな買い付けノウハウを活用し、新たな通販サイト「EXCEBLISS/エクセブリス」を立ち上げました。EXCEBLISSとは、Excellent(素晴らしい)とBliss(至福)の造語で、最高品質のコーヒー&紅茶で至福の時間を味わっていただきたいという思いから名づけられました。コーヒーの花や実、茶葉の新芽をモチーフに、カップのフォルムをかたどったロゴマークにも、豊かな時間を演出する“至福の一杯”の意味合いが込められています。



高品質なコーヒー&紅茶で至福の時間をお届けします

2014年4月のサイト開設以来、世界トップクラスのスペシャルティコーヒーやインド産ダージリンの最高級品を取り揃え、目の肥えたお客様にご利用いただいています。オープニング記念として、抽出器具とコーヒー・紅茶をセットにしたお得なスターターキット等もご用意しておりますが、なかでも人気ののがパナマ産コーヒーのゲイシャ。世界中から最高傑作として注目を浴びるエスメラルダ農園のゲイシャ種が100g単位で購入できるとあって、大変ご好評をいただいています。

パナマ  

エスメラルダ農園
ゲイシャ
100g 2,000円 ※数量限定

コーヒーの概念を覆す果実味あふれる味わいは、フルーツジュースを思わせる豊かさです。

shop.excebliss.com

株式会社ドトール・日レスホールディングス
URL <http://www.dnh.co.jp>

本社 東京都渋谷区猿樂町10番11号
TEL 03-5459-9178 (代表)

DOCTOR
株式会社ドトールコーヒー
www.doutor.co.jp

NRS
日本レストランシステム株式会社
www.n-rs.co.jp



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



適切に管理された森林資源を用紙の材料にしています。



VOC(揮発性有機化合物)の発生が少ない、ベジタブルインクを使用しています。

DNREPORT Vol.14

株式会社ドトール・日レスホールディングス
2015年2月期 第2四半期報告書



Contents

特集 サードウェーブ コーヒーへの挑戦	1
注目トピックス	5
新メニュー・ピックアップ	7
連結決算ハイライト	9
マネジメントメッセージ	10
事業別の概況	13
連結財務諸表	14
会社概要	15
株式情報	17



証券コード:3087

“最高の一杯”を提供する新業態 「カフェ レクセル」誕生



CAFE LEXCEL 丸の内ビルディング店

所在地 東京都千代田区丸の内2-4-1丸ビル4F
開店日 2014年4月5日
営業時間 平日・土曜 11:00-21:00
日曜・祝日 11:00-20:00

世界のコーヒートレンド サードウェーブとは?

いまコーヒーの世界で話題の「サードウェーブ(第3の波)」という言葉をご存知でしょうか。アメリカ発祥のコーヒーブームの変遷を示す用語で、第1の波はいわゆるアメリカンコーヒーと呼ばれる安価で薄いコーヒーが大量消費された時代を指します。第2の波はといえば、深煎りのエスプレッソブームで日本にも一大旋風が巻き起こりました。そして、迎えたサードウェーブ。コーヒーを国別だけでなく産地や農園ごとの個性を最大限に引き出して味わう、高付加価値型のスタイルが見直されているのです。



高価格・高品質マーケットを拓く 新業態「カフェ レクセル」を開発

コーヒー業界の新潮流サードウェーブの流れをくみ、スペシャルティコーヒーと日本のコーヒー文化の融合をテーマに開発したのが「カフェ レクセル」です。世界のコーヒートレンドを踏まえた最高品質のコーヒーを取り揃え、オーダーを受けてからバリスタが一杯分ずつ豆を挽き、丁寧に抽出するスタイルをとっています。メインターゲットは高付加価値型の消費を牽引する30~50代の女性、サブターゲットには情報感度の高い20~30代の男女を想定しています。

お客様をもてなすハイクオリティ バリスタの技術とコンシェルジュの知識

カフェ レクセルには、人・商品・店すべてにおいてEXCELLENCE(エクセレンス=秀逸)でありたいという想いが込められています。サードウェーブという新しいコーヒーの世界を楽しんでいただくため、豊富な知識を持ったコンシェルジュがお客様をお迎えます。メニューのご紹介をしながら味の特徴や抽出方法の違いをご説明し、お客様のお好みに応じたオーダーのお手伝いをします。そして、高い技術に裏打ちされたバリスタが“最高の一杯”をご提供します。



CAFE LEXCEL シアル桜木町店

所在地 神奈川県横浜市中区桜木町1-1
紅葉坂ギャラリー
開店日 2014年7月16日
営業時間 7:30-23:00(L.O.22:30)



ニカラゲア	
生産地 / 産地名	リモンシヨロ産 / スタバカ産
精製	ウォッシュド
標高	930 ~ 1350m
フレーバー / アロマ	ジュズミン フロウ / アーカイブス

モカ	
生産地 / 産地名	イルガチス産
精製	ウォッシュド
標高	1800 ~ 2100m
フレーバー / アロマ	フローラルピーチ / ストロベリー



レクセルでは、常時数種類のシングルオリジン(単一農園の豆)をご用意し、世界中の素晴らしいコーヒーを入れ替りご紹介していきます。

厳選したコーヒー豆をお好みの飲み方で

スペシャルティコーヒーは、生産工程・豆の質・味わいのすべてが素晴らしいと認められたコーヒーで、全コーヒー消費量のわずか3~5%と大変希少です。レクセルでは、高品質なコーヒーの楽しみ方を知っていただくこと、それぞれ個性の異なる豆を数種類をご用意しています。また、同じ豆でも淹れ方によって味わいが異なる点もコーヒーの奥深い魅力のひとつ。抽出方法をお選びいただき、お客様のお好みに合った“最高の一杯”をご提供します。

※価格は豆や飲み方によって異なります。(¥400~730)



「和」のテイストが映える フードメニューいろいろ

レクセルのフードメニューには、和テイストの食材を多く取り入れています。金芽米の米粉入りと全粒粉の2種類のパンから選べる人気の「ごちそうサンド」には、わさびクリームチーズやきんぴらごぼうを使用。デザートにはゆずチーズケーキやおからクッキー、焼きドーナツなどヘルシー志向のお客様にも大変ご好評をいただいています。



スペシャルティコーヒーで抽出したエスプレッソを使った、お店で仕込むティラミス。



サンドイッチには塩麹入りの特製ディップを添えたスティックサラダが付きます。



アボカド
シュリンプの
タラモサンド
¥580

スモーク
サーモン&
わさびクリーム
チーズソース
サンド
¥680

鴨スモークと
きんぴらごぼう
サンド
¥680

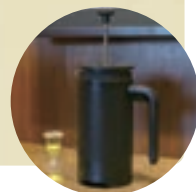
ハンドドリップ

古くから日本人になじみ深いハンドドリップは、ペーパーフィルターで濾すため雑味や余分なオイル分が取り除かれ、クリアな味わいが楽しめます。



コーヒープレス

コーヒー粉をお湯に浸して金属フィルターでプレスするシンプルな抽出法。豆本来の味がダイレクトに出るので、豆の品質が問われる抽出スタイルです。



エスプレッソ

細かく挽いた豆に加圧して抽出するエスプレッソは、ぎゅっと凝縮した濃厚な風味を堪能できます。カプチーノなどミルクを加えたメニューのベースにもなります。



カフェレクセルの 今後の展開

エクセルシオール カフェの さらなる進化へ

サードウェーブの流れをくむ新業態レクセル開発の背景には、エクセルシオール カフェの再生が期待されています。1999年に誕生し、エスプレッソブームの後押しを受け一時代を築いたエクセルシオールですが、昨今はブランド力の低下が否めない状況でした。新生エクセルシオールに向けたリブランディング施策の一環として、すでに店舗のリニューアルやメニュー刷新、業態変更等に着手しておりますが、このレクセルも新たな柱となるよう大切に育んでいきたいと考えております。コーヒーの時流をとらえ新たな市場に挑んだカフェレクセルの今後の展開にご期待ください。

Facebookを活用した最新情報発信

アクティブな情報発信を通じて、共感を広げるコミュニケーション

いまや日本のインターネット人口は9,600万人を超え、実に国民の10人に8人がインターネットユーザーと言われる時代です。Twitter、Facebook、LINE、YouTubeといったSNSの情報拡散力は、企業活動においてももはや無視できないレベルに達し、より積極的に活用しようとする企業が増えています。

今回はグループ内で展開しているFacebookページの中から、代表的なブランドを5つご紹介いたします。企業ホームページやプレスリリースなどではお伝えしきれない最新情報をきめ細かく発信することで、各ブランドとお客様をつなぐファン形成の一翼を担っています。Facebookユーザーの方は、ぜひ「いいね!」をお願いいたします。



ドトールコーヒーショップ

新商品やキャンペーン情報だけでなく、ドトールのこだわりや想いに共感してもらえるような記事を発信しています。

台湾版も!



洋麺屋 五右衛門

パスタセットのお取り寄せもできる通販サイト「安心堂」へのリンクも。

オー AUX パカナル BACCHANALES

毎週更新される各店のランチメニューやイベント情報は必見です!



星乃珈琲店

新店情報や季節のおすすめ商品などおいしそうな写真が盛りだくさん。

東京ばーの

新商品や催事販売のお知らせをいち早くお届けします!



いつもそこにある「おいしさ」のサプライズ

DOUOR



「ミラノサンド
ローストチキンと
サワークリームソース」
4月1日



「ロイヤル ハニー
チャイ」5月8日

「アセロラ・
クランベリー
ヨーグルト」
6月5日



復刻「ミラノサンド
パストラミビーフと
生ハム」6月19日



「モーニングBセット
野菜たっぷり
ツナタマゴ」7月10日



「ハイビスカス
ルイボスティー
~アセロラ・
クランベリー~」、
「ルイボスティー
~甘夏ハニー~」
7月31日



「ハニーラベンダー
ミルクティー
~ラベンダー・
フレーバー入り~」
5月8日

フォカッチャ
「ニース風」
6月5日



「フローズンマンゴー
ヨーグルト&ジャスミン
ティーゼリー」6月5日



モーニング「タマゴと
ベーコンのシーザー
サラダ」7月3日



ペリエ
「ゆずハニー
ジンジャー」
7月3日

「スフレロール
レモン」
6月5日



4月1日、グランドメニューにも新作を導入しました。

「たっぷり海老とモッツアレラチーズのトマトクリーム」

「カルボナーラ 黒毛和牛ミートラグーソース」

「苺のティラミス バニラアイス 添え」3月1日

「春野菜の菜園風スパゲッティー バーニャカウダソース」3月1日

「海老と空豆のクリームソース」4月1日

「豚しゃぶとたっぷり野菜の冷製スパゲッティー 塩レモン風味」6月2日

「フレッシュトマトと香味野菜の冷製トマトソース」6月2日

「よくばりフルーツ生ゼリー」6月2日

星乃珈琲店

限定店舗「夏のふわふわかき氷 ティラミス氷」6月13日

「苺ミルクのスフレパンケーキ」3月5日

「桃のスフレパンケーキダブル」6月13日

「タピオカロイヤルミルクティー」6月13日

限定店舗「夏のふわふわかき氷宇治抹茶ミルク金時抹茶わらびもち付」6月13日

「コーヒーゼリーアフォガード」6月13日



春のパンフェア 3月

駿河湾産
桜海老の
パンピザ



創業祭フェア 4月
匠(たくみ)
食パン

クロワッサンドーナツ
クッキー&クリーム



フランスフェア 5月



ご当地パンフェア 6月

明太子と高菜の
おやき(福岡)

夏のパンフェア 7月



夏野菜の
バーニャカウダ
ピザ



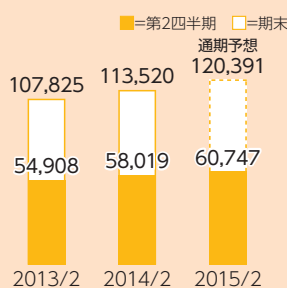
タンダリーチキンの
カルツォーネ
カレーフェア 8月

第2四半期の
ポイント

- 星乃珈琲店の出店拡大が業績に大きく寄与
- 価格改定の影響は想定通り、増収増益を維持
- 新製品投入が奏功し、一般卸売上が大幅増
- 効率化施策によりベーカリー部門が業績改善
- 中間配当を1株当たり14円に増配

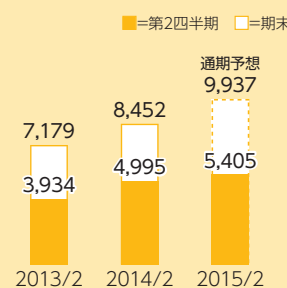
連結売上高

60,747
百万円
(前年同期比
104.7%)



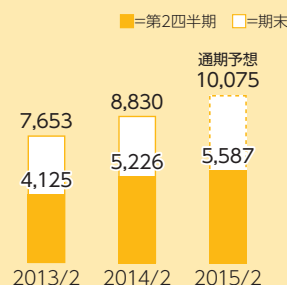
連結営業利益

5,405
百万円
(前年同期比
108.2%)



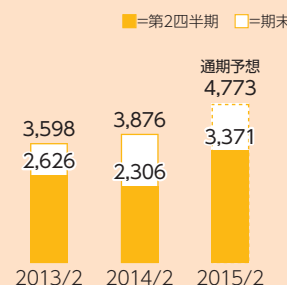
連結経常利益

5,587
百万円
(前年同期比
106.9%)



連結四半期純利益

3,371
百万円
(前年同期比
146.2%)



代表取締役会長 山内 実 代表取締役社長 星野 正則

時流を捉えた新業態を開発し 次の成長の柱に育ててまいります。

■ ■ ■ ご挨拶 ■ ■ ■

株主の皆様方におかれましては、平素より当社事業への格別のご支援とご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済対策や金融政策の効果から、設備投資の増加や雇用情勢の改善をはじめとした景気回復の兆しが見受けられました。一方で、エネルギーコストの上昇や消費税増税による物価上昇への懸念から、消費全般の基調は下押し圧力が高まっており予断を許さない状況で推移しました。

外食業界におきましても、円安の影響による輸入品価格の実質的な値上がりや原材料価格の上昇により、国内景気を下押しするリスクが顕在化し始めており、景気の先行きには依然不透明な状況が続いております。

このような状況のもとで、当社グループは、「外食業界におけるエクセレント・リーディングカンパニー」の地位確立を目指し、立地を厳選してグループ全体で56店舗(直営店40店舗、加盟店16店舗)を新規出

店しました。

既存事業においては、積極的な新メニュー開発や新業態の立ち上げ、顧客の嗜好にあわせグループ全体で9店舗の業態変更をしたほか、業務の効率化を推進するとともに、ブランド価値の向上を目指した改装を大きく推進するなど、事業基盤の強化に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高607億47百万円(前年同期比4.7%増)、営業利益54億5百万円(前年同期比8.2%増)、経常利益55億87百万円(前年同期比6.9%増)、四半期純利益33億71百万円(前年同期比46.2%増)となりました。

当社グループでは、国内既存事業の安定成長と新業態などによるグループシナジーの創出、そして海外事業展開の拡大などによる成長加速に邁進し、グループ全体の企業価値向上を図ってまいります。株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

▶▶▶既存店の状況について

ドトールコーヒーショップ、洋麺屋 五右衛門など、カフェおよびレストランの既存店は、ブランド価値向上に向けた店舗改装やお客様の嗜好に合わせた業態変更などを推進したほか、季節に合わせた魅力ある商品作りに注力し、新商品を継続的に発売するなど、各業態の強化と美味しさの追求に努めました。また、ドトールコーヒーショップでは、初のフォトコンテストや夏のキャンペーンなどの販促も強化したことで、お客様からのご好評を頂戴しております。

既存店の売上は、昨年と比較し降水日が多く、また気温が低く推移したことなど全国的な天候不順の影

響を受けた結果、当初計画を下回ることとなりましたが、外的要因を除くとほぼ想定の範囲の中で推移しており、経営環境の厳しい中でも安定した業績を保っております。

▶▶▶コンビニ・カウンターコーヒーの影響は

コンビニのカウンターコーヒーが大変好調であると聞いております。当社においては、インテリジェント・ビル内などにおいて、朝のテイクアウト需要に若干の影響がでていいる店舗が数店程度ございますが、現時点で当社業績に与える影響は非常に軽微であります。

これは、お客様のコンビニの利用動機とカフェの利用動機が異なることが大きな要因ではないかと考えており、ドトールコーヒーショップなど当社カフェ業態の利用者については、コーヒーの品質・味はもちろん、一息つくための空間やちょっとしたサービスなどを総合的に受け入れて頂いているものだと認識しております。

また、当社は店舗事業もございいますが、コーヒー焙煎卸売事業も主要な事業となっており、コンビニやさまざまな業態でコーヒー飲用の機会が増えている状況は、我々にとっても大きな好機と捉えております。今後も卸売としての事業拡大と、カフェとして品質・味はもちろん、店舗環境やサービス・レベルを上げていくことで、高品質・高付加価値を実現し、お客様にやすらぎと活力を提供し続けてまいります。

▶▶▶通期業績予想について

外食業界を取り巻く環境は円安の影響による原材料価格の高騰をはじめ、個人所得の低迷を背景とした消費者の生活防衛意識の高まりや業界の垣根を越えた業態間競争の激化など、大変厳しい経営環境が継続しております。

このような環境下、当社グループではドトールコーヒーショップや洋麺屋 五右衛門など主力の既存事業において積極的な新メニュー開発にあたるなど、安定した業績を継続し、基盤となる経営数値を上げることができました。また、星乃珈琲店における新規出店の加速やコーヒー卸売事業における販路および取引先の拡大に努め、成長を促進した結果、お陰様で当初計画を上回る業績で推移しております。

通期業績においても、消費税の増税により消費動向における不安要素が拡大しているものの、業容拡大を継続するとともに、これまで継続しているグループ間取引の拡大や仕入の共通化を着実に増加させるなど、人件費を含む販売管理費を抑制することで利益を確実に積み上げ、通期業績予想となる経常利益100億円を確実に達成するよう、鋭意努力してまいります。

今後も既存事業の安定成長を目指し、新商品の開発を含めた商品力のアップや新規出店強化、新業態開発のほか、改装を含めたブランド価値の再構築に努め、業容の拡大を図る所存です。また、海外展開の拡大や

M&Aなども機会を逃さず、積極的に取り組み、グループ全体の企業価値増大を図ってまいります。株主の皆様方におかれましては今後ともご支援、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

2015年2月期の当社業績予想【連結ベース】

売上高	1,203億91百万円(前年比 106.1%)
営業利益	99億37百万円(前年比 117.6%)
経常利益	100億75百万円(前年比 114.1%)
当期純利益	47億73百万円(前年比 123.1%)



代表取締役会長
山内 実



代表取締役社長
星野 正則

■ドトールコーヒーグループ

ドトールコーヒーグループの小売事業およびフランチャイズ事業においては、季節に合わせた魅力ある商品作りを継続するとともに、フォトコンテストや夏のキャンペーンがお客様のご支持を頂くなど、既存事業の強化と美味しさの追求に努めました。また、デザイン性の高い店舗の新規出店や既存店の改装を積極的に展開するなど、ブランド力の強化に努めました。さらに、スペシャルティコーヒーと日本のコーヒー文化の融合をテーマにした新業態「カフェ レクセル」を丸の内ビルディング内および桜木町駅にオープンするなど、積極的な展開を図りました。

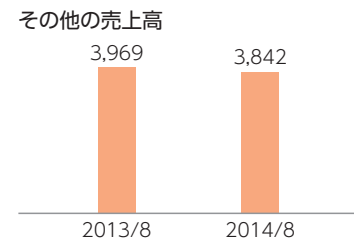
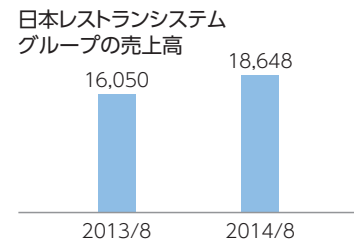
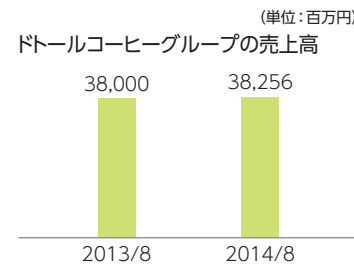
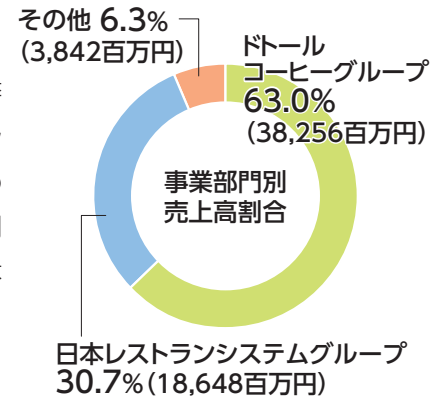
卸売事業においては、ドリップコーヒーやコーヒー原料などの販路および取引先の拡大、またコンビニエンスストアを中心にチルド飲料など定番商品と新商品の継続的な投入に注力したほか、他企業とのコラボレーションなど新たな商品の開発・販売をはじめ、これまで以上の業容拡大に努めた結果、売上を大きく伸ばすことができました。

以上の結果、ドトールコーヒーグループにおける売上高は382億56百万円(前年同期比0.7%増)、セグメント利益は26億54百万円(前年同期比6.4%増)となりました。

■日本レストランシステムグループ

日本レストランシステムグループでは、「洋麺屋 五右衛門」を中心とした既存事業のブラッシュアップに注力するとともに、「星乃珈琲店」を積極的に展開しました。「星乃珈琲店」では東京の高井戸に旗艦店となる大型の新規出店をしたほか、前期よりスタートしたフランチャイズ展開の拡大を図るなど、お客様のご要望にお応えできるよう、店舗網の拡大に努めました。また、新たな展開としては、「サロン卵と私」や「銀座カリー堂」などの多店舗化を図るなど、新規出店の拡大に注力いたしました。

以上の結果、日本レストランシステムグループにおける売上高は186億48百万円(前年同期比16.2%増)、セグメント利益は26億55百万円(前年同期比12.1%増)となりました。



■連結貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 2014年8月31日現在	前連結 会計年度末 2014年2月28日現在
資産の部		
流動資産	45,090	43,562
固定資産	69,138	66,225
有形固定資産	39,787	36,731
無形固定資産	777	878
投資その他の資産	28,573	28,615
資産合計	114,229	109,788
負債の部		
流動負債	17,145	15,646
固定負債	6,183	5,939
負債合計	23,328	21,585
純資産の部		
株主資本	90,257	87,513
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	25,858	25,858
利益剰余金	66,185	63,440
自己株式	△ 2,785	△ 2,785
その他の包括利益累計額	557	572
その他有価証券評価差額金	303	115
繰延ヘッジ損益	225	365
為替換算調整勘定	27	91
少数株主持分	85	116
純資産合計	90,900	88,202
負債及び純資産合計	114,229	109,788

■連結損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 2014年3月1日から 2014年8月31日まで	前第2四半期 連結累計期間 2013年3月1日から 2013年8月31日まで
売上高	60,747	58,019
売上原価	24,071	23,353
売上総利益	36,675	34,666
販売費及び一般管理費	31,270	29,670
営業利益	5,405	4,995
営業外収益	216	267
営業外費用	34	36
経常利益	5,587	5,226
特別利益	279	108
特別損失	216	971
税金等調整前四半期純利益	5,649	4,363
法人税、住民税及び事業税	2,306	2,056
少数株主損益調整前四半期純利益	3,343	2,306
少数株主利益又は損失(△)	△ 27	0
四半期純利益	3,371	2,306

■連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 2014年3月1日から 2014年8月31日まで	前第2四半期 連結累計期間 2013年3月1日から 2013年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,354	5,990
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,660	△ 597
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,762	△ 1,382
現金及び現金同等物に係る換算差額	37	117
現金及び現金同等物の増加額	△ 2,031	4,127
現金及び現金同等物の期首残高	31,950	27,874
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,918	32,001

株式会社ドトール・日レスホールディングス

設立 2007年10月1日
 資本金 10億円
 従業員数 2,550名(連結)
 本社 東京都渋谷区猿楽町10番11号
 03-5459-9178(代表)
 事務所 東京都渋谷区神南一丁目10番1号
 03-5459-9178(代表)
 U R L http://www.dnh.co.jp

●取締役

代表取締役会長 山内 実
 代表取締役社長 星野 正則
 常務取締役 木高 毅史
 常務取締役 稲森 六郎
 取締役 大林 豁史
 取締役 鳥羽 豊
 取締役 青木 幸隆
 取締役 橋本 邦夫
 (社外)取締役 五味 淳吾
 (社外)取締役 星 秀明

●監査役

常勤監査役 郷井 義郎
 常勤監査役 宮林 哲夫
 (社外)監査役 梶川 浩
 (社外)監査役 吉島 重鐵

(2014年8月31日現在)

株式会社ドトールコーヒー

設立 1962年4月
 資本金 111億41百万円
 本社 東京都渋谷区神南一丁目10番1号
 03-5459-9008
 U R L http://www.doutor.co.jp

日本レストランシステム株式会社

設立 1973年6月
 資本金 35億5百万円
 本社 東京都渋谷区猿楽町10番11号
 03-6743-7010
 U R L http://www.n-rs.co.jp

D&Nコンフェクショナリー株式会社

設立 2008年8月 資本金 4億80百万円

D&Nカフェレストラン株式会社

設立 2008年12月 資本金 2億円

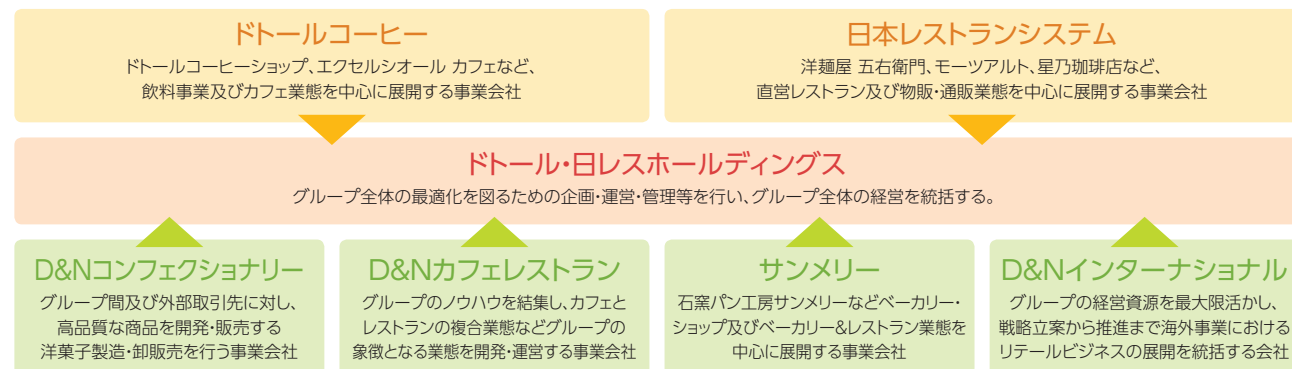
株式会社サンメリー

設立 1969年7月 資本金 50百万円

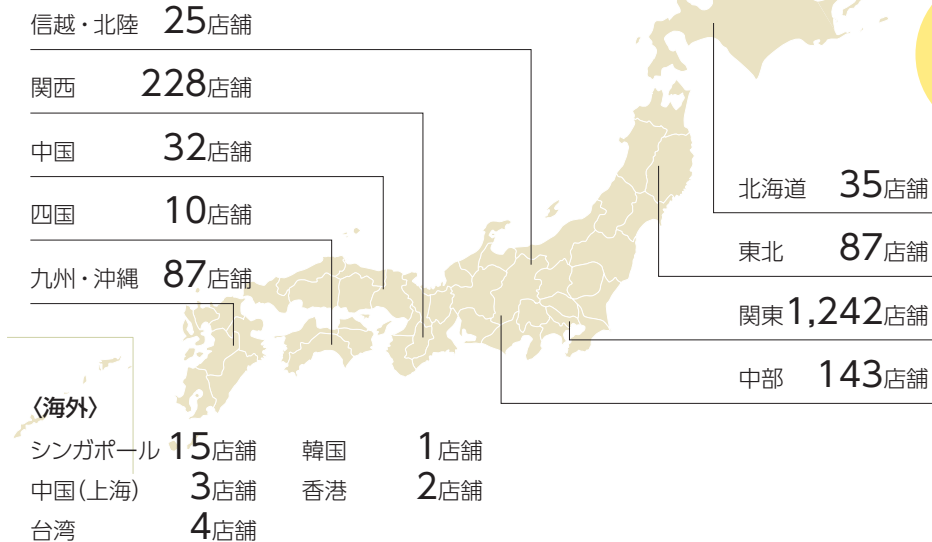
D&Nインターナショナル株式会社

設立 2011年8月 資本金 50百万円

■グループ事業の概況



■地域別店舗数



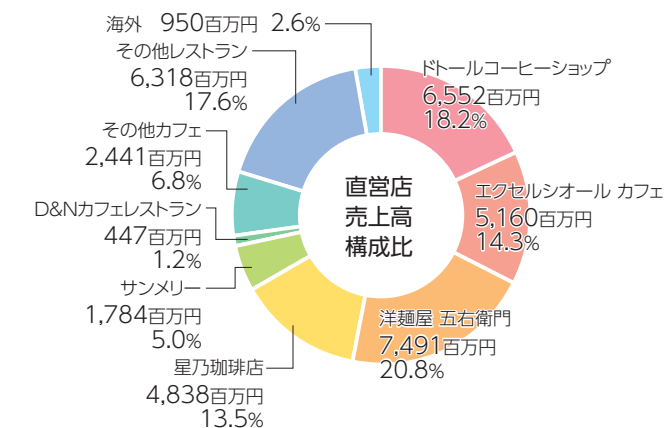
本誌掲載情報の詳細については
 当社WEBサイトをご参照ください。
<http://www.dnh.co.jp>



ドトール日レス

■業態別店舗数 (2014年8月末)

業態名	全店	うちFC
ドトールコーヒーショップ	1,100	934
エクセルシオール カフェ	135	31
カフェ コロラド	69	67
洋麺屋 五右衛門	206	6
星乃珈琲店	117	5
サンメリー	33	—
海外	25	—
その他	229	4
合計	1,914	1,047



※直営店の売上高は総売上高の59.2%を占めます。

■ 株式の状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	50,609,761株
株主数	35,912名

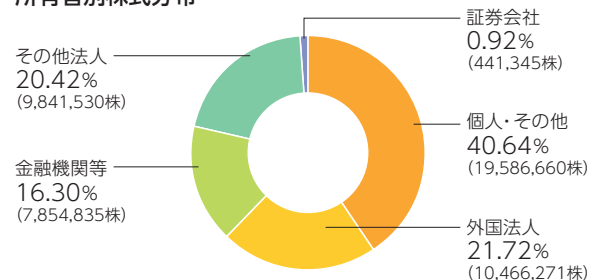
■ 大株主

	持株数(千株)	持株比率(%)
大林 豁史	6,749	14.01
株式会社マダム・ヒロ	3,728	7.74
鳥羽 博道	2,430	5.04
株式会社バードフェザーリンク	2,300	4.77
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,629	3.38
日本たばこ産業株式会社	1,320	2.74
ゴールドマンサックスインターナショナル	1,118	2.32
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	942	1.96
山内 実	924	1.92
鳥羽 豊	831	1.73

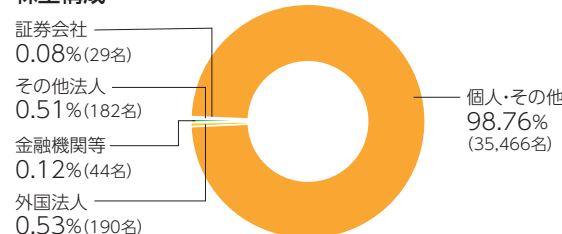
※持株比率は自己株式(2,419千株/4.78%)を控除しております。

■ 株式・株主分布

所有者別株式分布



株主構成



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月に開催します。
基準日	定時株主総会 2月末日 期末配当金 2月末日 中間配当金 8月31日 そのほか株主総会を開催する必要がある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
公告掲載方法	電子公告により行います。(ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。)
電子公告アドレス	http://www.dnh.co.jp/ir/koukoku/index.html

■ 株主優待のご案内

対象株主と贈呈時期

毎年2月末日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主様を対象とさせていただきます。毎年6月の贈呈を予定しております。

優待制度の内容

- 100株以上500株未満
2,500円相当の商品
- 500株以上
4,500円相当の商品

■ 株式に関するお知らせ

● 配当金計算書について

配当金支払の際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、「配当金計算書」を同封させていただいております。

確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

■ 株式に関するお手続き等について

お手続き	お問い合わせ先	
	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
●株主名簿記載事項の変更 商号・氏名、住所、代理人選任、変更など	証券会社に 口座を開設した証券会社 にお問い合わせください。	みずほ信託銀行 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 TEL:0120-288-324
●単元未満株式の買取請求 ●単元未満株式の買増請求 その他手続きに関する事項		
●未払い配当金のお支払	上記みずほ信託銀行のほか、みずほ銀行、みずほ証券でもお取扱いいたします。	

(みずほ証券では取次のみとなります。)

お問い合わせ先(株主名簿管理人) **みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324**
取次所 **みずほ信託銀行株式会社 みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所**